

自分を断髪改色で「だっど」その息子は体面(お父さん)伝へたい!!

電気使費を減らす

たしかにその息子は、最先端(閉鎖的)は知ってる

一般市民に伝えるのが大切だね!(市長)

私をうしろ、地球をうしろに生きるぞ!

廣谷純子さん
(株式会社エフエーエー研究所 住環境教育科 主任 一級建築士)

CCRC
健康ステジにあわせて、定年後も住居するこころ”高齢者の元々自立を延長 (ハルピリイアキ)

駅

- 「ライフステージに応じて移住する」という画期的な大成功 (住みやすさ、土地、その他条件のクリア)
- 「まちレベルで」都心から20分圏内から

CCRCを本市なら市内移住が実現できる!

中長 尊士さん
(CCRC 地域活性機構 橋樑会 運営人)

4都市には日本初、日本最長の人工海岸がある!

宮島 日笠 早色 多田 自見

「行楽としてのビーチ」しかない → 海は4都市のアイデンティティだ! 日笠の海へかきまわす (市長)

SUP

生活の中に海を盛り込ませ!!

米田美樹子さん
(SUPCLUB 倶楽部 フェスティバル メンバー)

ガニバリと

お金の心配

身近な情報提供 (とくやう存在の) 必要性

- お金のとくやうに
- ライフステージに合わせたお金の教育は大切 (市長)

中間所得者、納税者の自立支援を!!

黒田ちほりさん
(看護師経験をもつがん患者 専門の家計相談アドバイザー)

どんな会?

7人の市民が自身の取り組みとそこに込めた想いをプレゼンテーション

それぞれ、市長と対話と重なる箇所

さまざまなテーマ展開されるトークセッションがくり広げられました。

イベントレポート

7

熊谷千葉市長と語る7の小さな物語

2017.4.9(日) 14:00~16:00

コーディネーター 申島明さん (日出家舎 代表 としあき堂 コレクター)

熊谷 謙市長

参加しての私の感想

どんな自分から当事者な気持ちで地域を動かしたい。お話し27777!

どのプレゼンも、どの対話も丁寧でセリウムに印象的でした。

会場を別化した

自身が他分野から両腕の介護士という

同じように困っている人へは「30分ケア」を伝えている。

自分が、周りが認知症になった時に早く気づく40代で気づいてほしい

行政ももっと早く気づいてほしい。

高齢者になっても安心して長く暮らし続ける支えたい

前澤弘子さん
(認知症家族の会 40代から20代代表)

こども広場

ファミリー保育園の1室にある出入り自由のスペース。

3歳以下の子で遊びに行けるこども広場

保育園が地域に開かれたら?

作るときに開館を想定して開取りを考えることが大切だね!(市長)

地域と開かれた保育のつながりや保育園の理解とつながり

藤井 威郎さん
(ファミリー保育園 園長)

熊谷が掲げる「住」の概念がある

千葉市は国土地を越えて、思いやりでつながる (市長)

新築、高齢化

居住費の高さ → 資産価値の低下

若人への住居確保

住み続けられる団地へ

戸村 達彦さん
(元-NPO法人ちほり地域 再生リハビリ職員)

普段は場外取引と関係構築の場ではないか。

企業 生活者 → 市民

入る → 出る

三井時代には、公務員が町の人の子を世話していた

現代にも家帯を

総じて暮らしは自分どうにかするに委ねる

(市長)

市民は消費者だから、株主! 納税者と議決の両方を持つ。